

# ボーリング柱状図

調査名 平成28年度 その他河川 東川 通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	広島県豊田郡大崎上島町木江				北緯	34° 14' 25.7649"					
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所			調査期間	平成 29年 2月 11日 ~ 29年 2月 14日			東経	132° 54' 49.6441"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者						
孔口標高	66.75m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 16°	使用機種	試錐機	D1-B48 (東邦地下)		ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	6.00m	度	0°	向				エンジン	NFD-13 (ヤンマー)		ポンプ	BG-3C (東邦地下)		

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 (月日)	掘進 (月日)
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値					
1	65.75	1.00	1.00		玉石混じり砂礫	暗黄褐色			φ15cm程度の岩・コンクリート塊混入。マトリックスは粘土と粗砂で占められる。	1.15	3	3	9	8.4			2/11	
2					粘土混じり砂礫	暗黄褐色	緩中位		礫はφ5~30mm程度の角礫。マトリックスは粘土と粗砂で占められる。1.3~2.0m全漏水で土塊としての自立性に欠く。	1.47	3	3	9	21				
3					粘土混じり砂礫	暗黄褐色	緩中位		礫はφ5~30mm程度の角礫。マトリックスは粘土と粗砂で占められる。1.3~2.0m全漏水で土塊としての自立性に欠く。	2.15	5	8	21	17				
4	63.00	2.75	3.75		風化粘板岩、軟岩 I	黒灰			基礎である粘板岩。コア長は5~10cm程度の短棒状コアで採取される。4.5~5.3m間、割れ目が交錯し礫状コア。珪質脈、片理は約20度。割れ目は褐色化、軟質化が著しい。DII~CI級、軟岩 I	3.15	3	5	17					
5					風化粘板岩、軟岩 I	黒灰			基礎である粘板岩。コア長は5~10cm程度の短棒状コアで採取される。4.5~5.3m間、割れ目が交錯し礫状コア。珪質脈、片理は約20度。割れ目は褐色化、軟質化が著しい。DII~CI級、軟岩 I	3.45			50					
6	60.75	2.25	6.00		風化粘板岩、軟岩 I	黒灰			基礎である粘板岩。コア長は5~10cm程度の短棒状コアで採取される。4.5~5.3m間、割れ目が交錯し礫状コア。珪質脈、片理は約20度。割れ目は褐色化、軟質化が著しい。DII~CI級、軟岩 I	4.00	貫入不能		50					
7										4.85	20	30	50	25.0				
8										4.97			50					
9										6.00	貫入不能		50					
										6.00	貫入不能		50					